

11 さがえ協力隊通信



寒河江市
地域おこし協力隊ページ

No.202211-1 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

活動1年目

農林課所属

森川 宏輝

もりかわ ひろき



活動1年目

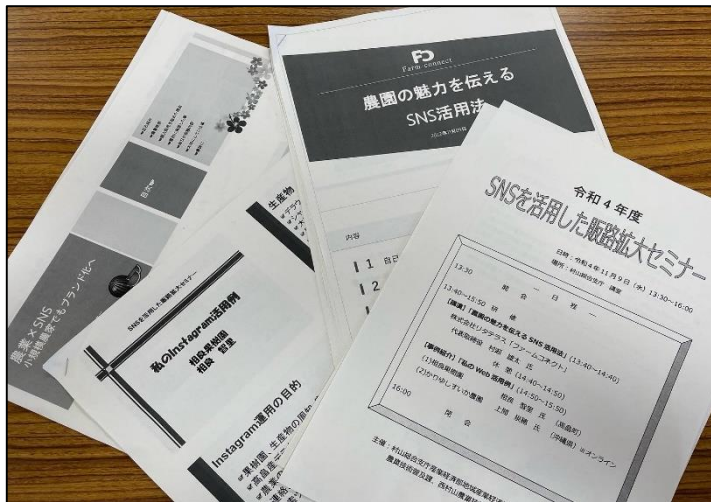
農林課所属

小林 勇氣

こばやし ゆうき



『SNSを活用した販路拡大』



寒河江もだんだん気温が下がり、冬支度もチラホラ見かけるようになりました。

そんな中、11月9日に村山総合支庁で開催された『SNSを活用した販路拡大セミナー』を受講してきました。

農園の魅力伝えるための活用法や各SNSの性質、現在活用している農家さんの成功事例など、魅力的なお話を聞くことができました。

私自身も農家を志していて、将来はSNSを通してブランド化などにもチャレンジしたいと思っています。

学んだことを参考にこれからも情報発信に取り組んでいきたいと思っておりますので、右のQRコードよりぜひフォローをお願いします！



『リンゴ最盛期!!』



だんだんと寒くなってきて、冬が近づいて来るのを感じます。この季節になると作られている農作物も限られてきますが、その中でもリンゴは最盛期となっています。

恥ずかしながら、私は青森県の弘前市というリンゴ生産日本一の市で生まれ育ったにも関わらず、リンゴに関する知識がほとんどなく、寒河江に来て初めて知識を身に付けました。収穫したのも小学校以来ぐら

いでした。生産者側の視点で改めてリンゴという物を見ると、その大変さや難しさなど様々な発見がありました。

まもなく寒河江に来て初めての冬が訪れますが、事故などに気を付けて活動していきたいです。



11 さがえ協力隊通信



No.202211-2 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

寒河江市
地域おこし協力隊ページ



企画創成課所属
清政 朱音
きよまさ あかね

活動1年目

所属するNPO法人グラウンドワーク寒河江の活動「ホタルの里プロジェクト」の一環でマコモダケを育てています。

同プロジェクトではビオトープゾーンを整備しマコモダケを育てることでホタルが生きやすい生態系を保っています。10月～11月上旬には食べ頃のマコモダケの収穫を行いました。

11月12日には慈恩寺活性化センターで親子向けのセミナーとマコモダケを使った食事会が行われました。マコモダケは天ぷらや玉子とじ、炊き込みご飯に調理し皆で美味しく頂きました！



農林課所属
福田 周平
ふくだ しゅうへい

活動1年目

栽培したカボチャを使って農家の方々とジャックランタンを作りました。

カボチャの皮は思っていたより柔らかく、中身も空洞になっており、目と口をくり抜き種を取るだけだったので、思ったより簡単に作ることができました。

中に火をつけたろうそくを入れるとハロウィンの雰囲気満載のジャックランタンのでき上がり。

とても楽しい体験でした。来年も機会があればやってみたいと思います。



学校教育課所属
鈴木 郁
すずき かおる

活動1年目

「さがえ少年少女発明クラブ」は、今年10月に開講し、これまで3回の活動を行いました。1回目は前号で報告済です。

2回目は、電気の働きを勉強して、モーターを積んだ車を組み立て、直流、交流双方で駆動させ、動きの違いを学びました。

3回目は、株式会社シェルターがプログラムを提供して下さり、木を加工して行う工作活動で、クリスマスツリーを作りました。クラブ員はノコギリに苦労しながらも、木を加工し、思い思いのツリーを作りました。

クラブは、様々なテーマで今年度8回の活動を行う予定です。

第2回 電気の働き・モーターを動かす



第3回 木を使う工作 クリスマスツリー

